



上越支部 稲田道場 所属
Seira Okada
岡田 星桜 (オカダ セイラ)

『空手を始めたことで』 岡田 星桜

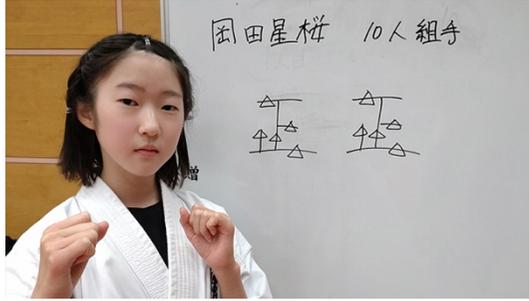
「どんなことにも挑戦できる強い精神をもってほしい」、「引っ込み思案をなくしてほしい」というお母さんの思いから、幼稚園の年中の終わりに体験会に参加したのが空手を始めたきっかけでした。その時はまだ空手というのがよくわからなくて、ただただ怖く、その場にいることがすぐくつらかったことだけが思い出されます。

それでも入門してみると、型や移動など、新しいことを覚えるのがすごく楽しくて、みんなに褒めてもらえることが嬉しく、稽古がつらく感じることはありませんでした。昇級審査では、無級から九級へ、九級から七級へと飛び級することもできて自信につながりました。

始めたころは順調だったのに、級があがると型や移動なども複雑になって覚えるのが大変になりました。そして、小さくて体力がなかった私はだんだんと組手が苦手になってきました。相手が自分よりも大きいと、痛い・怖いが先になり、ついつい逃げることに意識が向いてしまっていたからです。大会では、型で優勝することはできても組手はどうしても勝てず、いつも悲しい気持ちになりました。仮審査で合格をもらえないこともあってくやしい思いもしました。

今回、黒帯審査の許しをもらって挑戦できることになりましたが、十人組手が不安でしかたありませんでした。でも、どんなつらくても「絶対に泣かない」、「逃げない」と自分で決めて審査に挑みました。が、その時のことは緊張しすぎてあまり覚えていません。それでも終わったあとに戦ってくれたみんなから、蹴りが強かったよ。と褒めてもらえたことは嬉しかったです。あきらめず稽古を続けていてよかったですと思いました。引っ込み事案だった私も、今では自分から積極的に話しかけたりすることができるようになり、そして色々なことにチャレンジできるようにもなりました。空手を始めたことで自信がついて、本当に自分が変われたと実感しています。

教えてくださった師範、そして仲間みなさん、ありがとうございました。



黒帯になっても日々の稽古を怠らず、今以上に体力をつけ、みんなのお手本となるような存在になっていきたいと思えます。 押忍